研究領域の分類
＆
好奇心の円環

研究成果の分類

NIMS幹部会資料より
（040128渡辺監事）
津崎が書き写し

（ひらめき型）

真理の追求・新原理の開拓

Bohr type

・物事の構造・メカニズムを探求し
普遍的表現を追求

Pasteur type

・物事のメカニズム探求を通して
実用的価値を開拓

学術的貢献

実用的貢献

Bragg type

・物事の基本データを集積し
学術的/工学的利便性を提供

Edison type

・知識集約的に工学的応用を開拓し
実用的価値を創出

知識の集積／組み合わせ

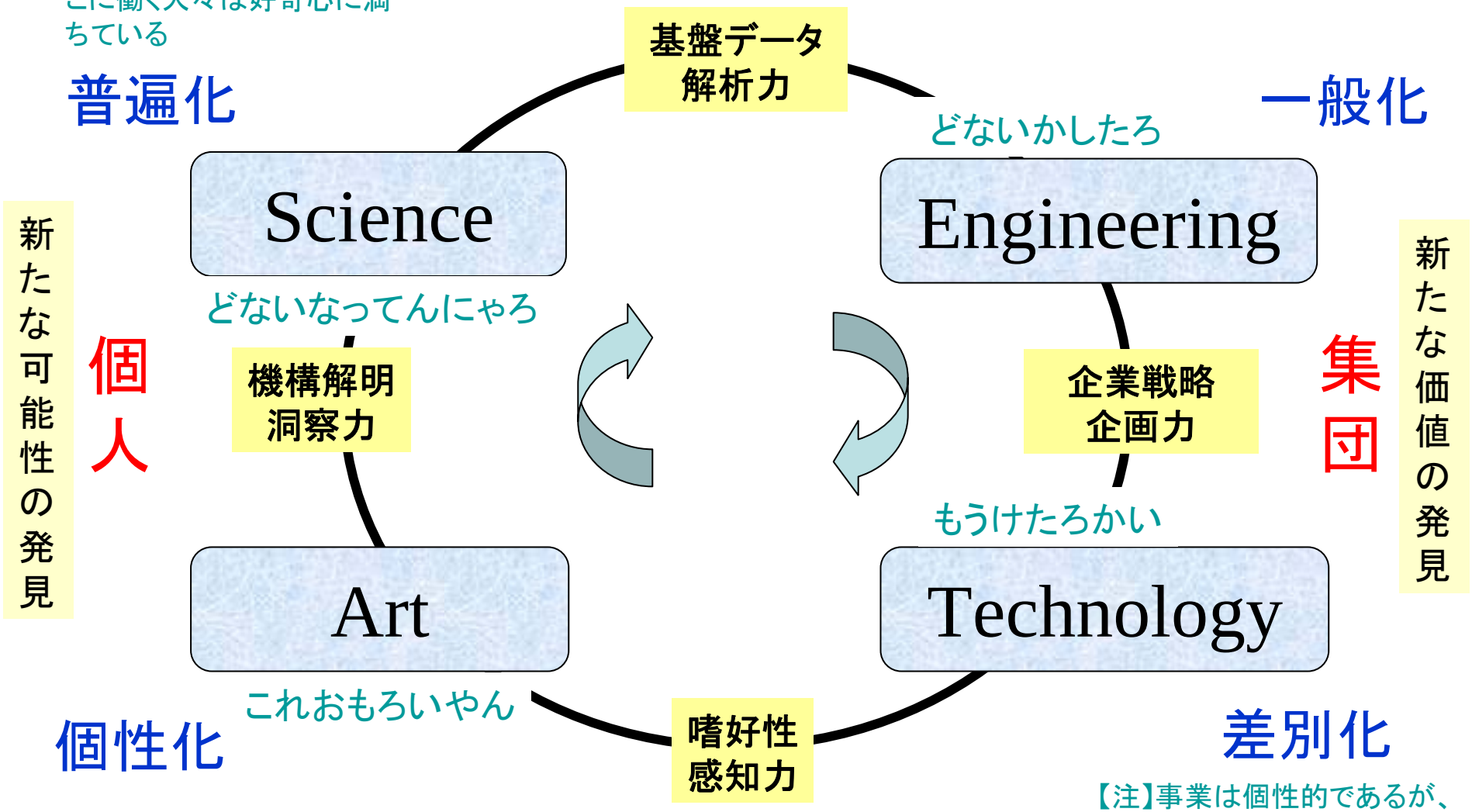
（努力型）

太くしたい「好奇心の鎖」

060307 version
NIMS-SRC津崎7

【注】研究領域そのものは没個性である場合もあるが、そこに働く人々は好奇心に満ちている

没個性、コンピュータ制御



個性、職人気質

【注】事業は個性的であるが、そこに働く人々の作業は単調におちいりやすい

人間の行動規範

「快―不快」×「好奇心―？」×「個人―社会」

好奇心と組になるものは何か？